

社会との連携——新たな繁栄を目指して

国立高等専門学校協会 会長
宮城高専校長 四ツ柳隆夫

独立行政法人国立高等専門学校機構法

第 1 章（機構の目的）

第 3 条 独立行政法人国立高等専門学校機構（以下「機構」という）は、職業に必要な実践的かつ専門的な知識及び技術を有する創造的な人材を育成するとともに、我が国の高等教育の水準の向上と均衡ある発展を図ることを目的とする。

（業務の範囲等）

第12条 機構は、第3条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- 一 国立高等専門学校を設置し、これを運営すること。
- 三 機構以外の者から委託を受け、又はこれと共同して行う研究を実施、及びその他の機構以外の者との連携による教育研究活動を行うこと。

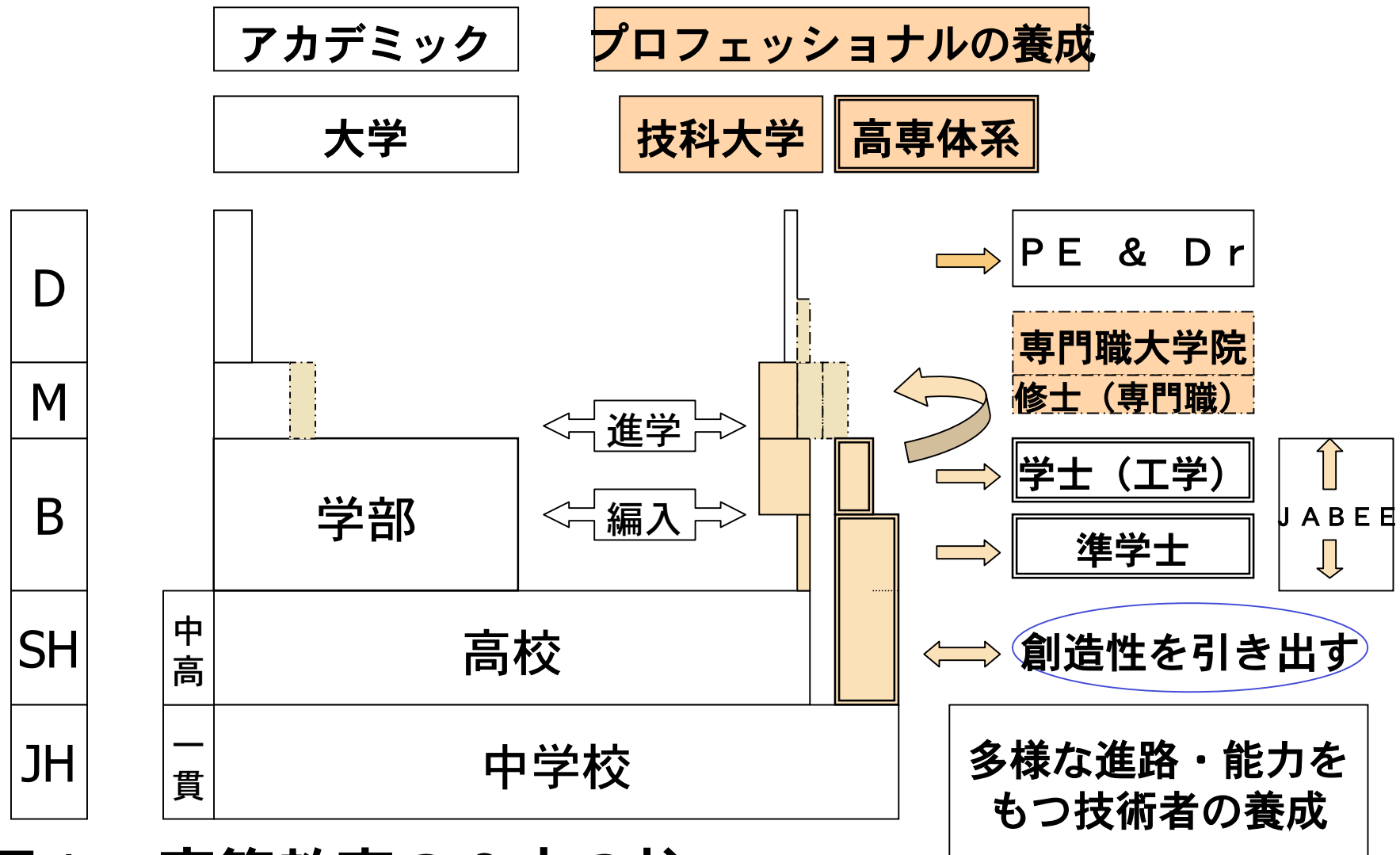
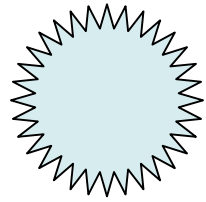


図 1 . 高等教育の 2 本の柱へ

着想の時代



インテリジェンス
センス

Education

システム

機能

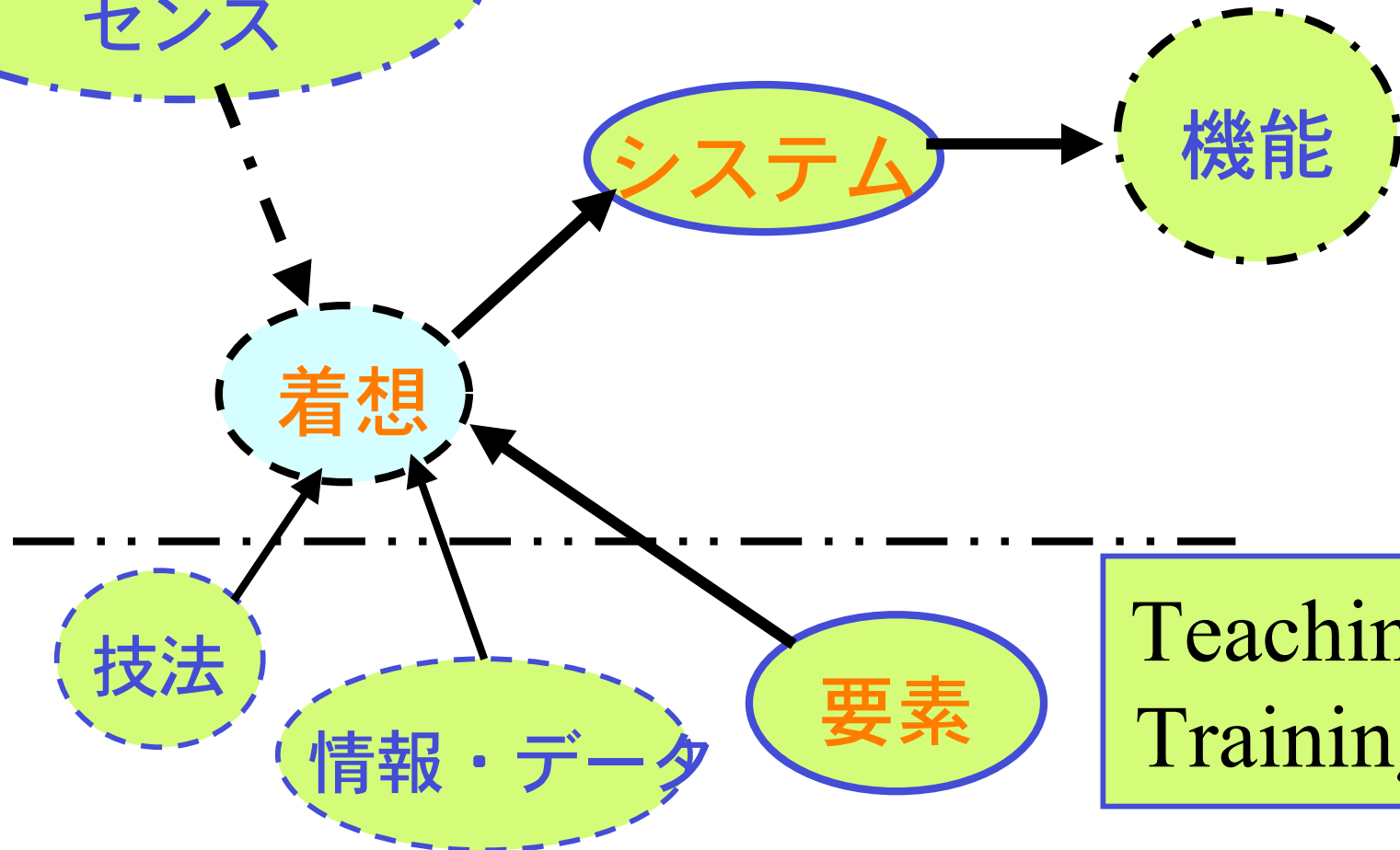
着想

技法

情報・データ

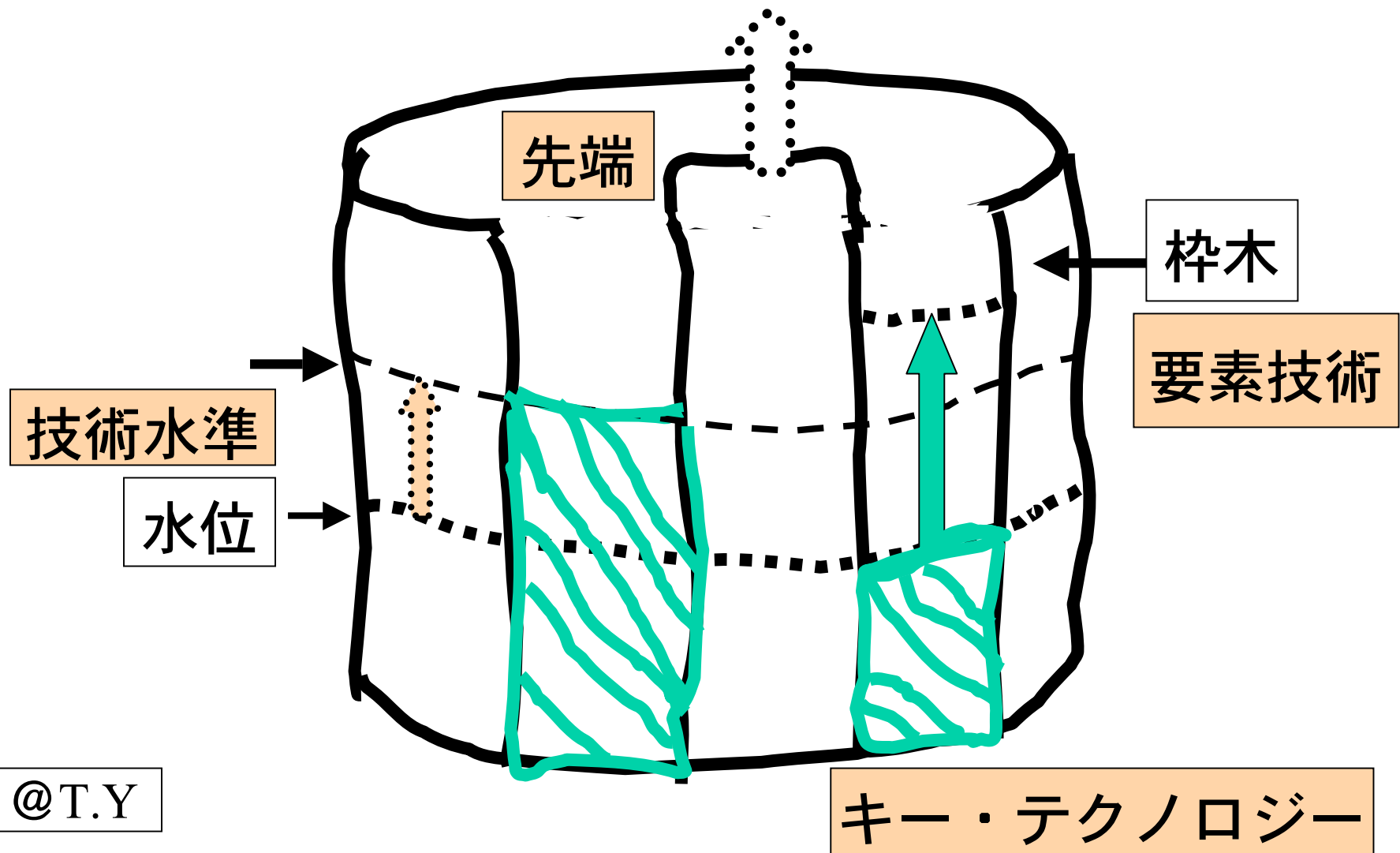
要素

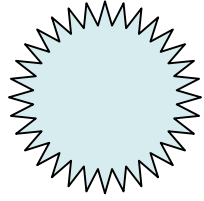
Teaching
Training



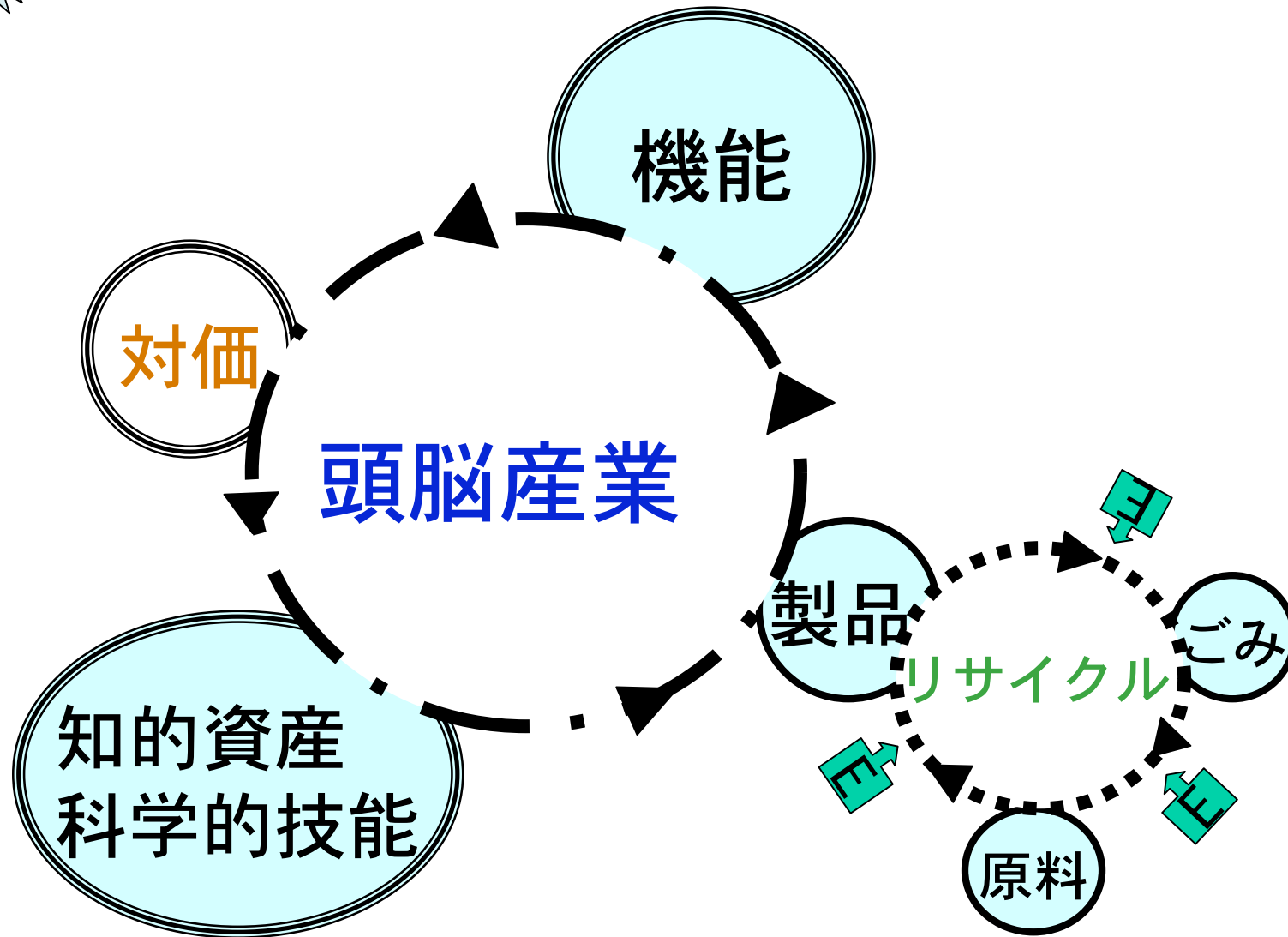
桶モデル

最も遅れた技術が水準を決める





頭脳産業への展開



発展に向けて

- 高専の位置づけの明確化
- 自らの力量の強化と実証（JABEEなど第3者評価）
- 専攻科の拡充と新しい人材養成システムの実践（COOP）

[人材像のモデル] 人間の能力を生かし、「生き甲斐と福祉」に関する課題を解決していけるエンジニア

- ・ 大学： 学問の創造 ニュートン
- ・ 専門職教育機関： エジソン

- 名称問題の解決 「学士と準学士を出せる機関」
——University College of Technology